



おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告
2013年1月17日号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



参加者募集 市民講座



プロフィール

1948年鹿児島生まれ。九州大学医学部中退後、新聞記者、雑誌記者を経て独立。取材国は50数カ国に及ぶ。38歳のとき脳梗塞で倒れ一時は半身不随と成ったが、必死の力ハビリで再起。この闘病生活中に、人生はたった一回しかないこと、またどんな人にもなすべき使命があってこの地上に送られていることを痛感し、この宇宙には大きな仕組みがあり、それに即した建設的で前向きな生き方をしたとき、実りある人生が築けることに目覚めていく。こうして闘病中に起草した『安岡正篤の世界』（同文館出版）がベストセラーになり、以後、次々にベストセラーをうみ出し、講演や執筆に大忙となる。

日時 2月2日(土) 午後2時～4時

会場 藤枝市文化センター 会費無料

参加申し込みは落合慎悟事務所まで 定員300名

演題 『人は何によって輝くのか!!』

日本の指導者達の師 中村天風先生、安岡正篤先生の教えや幕末維新の指南書『言志四録』の解説者

講師 神渡良平 先生

著書

- 『敗れざる者 ダスキン創業者鈴木清一の不屈の精神』
- 『一隅を照らす生き方』
- 『安岡正篤 立命への道』
- 『宇宙の響き—中村天風の世界』
- 『静寂の時間がいのちの根を養う』
- 『天翔ける日本武尊(上下)』
- 『下坐に生きる』
- 『安岡正篤「珠玉の言葉」』
- 『中村天風「幸せを呼び込む思考」』
- 『孤独になる前に読んでおきたい10の物語』
- 『安岡正篤人間学』
- 『安岡正篤の風韻』

どなたでもご参加できます。是非ご参加下さい。

『落合しんご新春交流会』

日時 2月2日(土) 午後5時～8時

会場 藤枝市文化センター

会費 2,000円

申込 1月27日(日) 締切

落合慎悟事務所
☎645-8100 fax645-8111



昨年は2月19日に市民講座と交流会を開催しました。講師はテレビに登場する経済評論家の三橋貴明先生をお招きし、「ニッポンの復活はここから始まる」をテーマに元気の出る経済政策についての講演でした。講演会終了後の交流会は市内の皆様と親睦を深めました。

12月2日(日) 藤枝市民講座開催 生涯学習センター



～熱血先生・大塚貢の挑戦～

『ごはんが子供たち
を変えた!』

講師 大塚貢先生

講演は食育が中心で食事内容で非行や荒れた学校が変わる話でした。売られている食品は防腐剤、軟化剤、化学添加物付けて腐らない5年前のパンや菓子等を見せてくれた。こどもが好きな肉中心の給食から米飯・青魚・野菜に変えたらアトピーがなくなり、元気で明るく学校も花でいっぱいになった実体験話です。



子供たちのことを思い、真剣にお話を聞く参加者の皆さん。「授業改革・給食改善・花壇作り」で非行、いじめをなくす。

最新的话题『シェールガス革命』で世界は激変する。割高な再生エネルギーや原発は衰退?

石炭も石油も再生エネルギーも新天然ガス『シェールガス』のコストと埋蔵量には勝てない!! 中電は先手!!

昨年11月4日号で紹介した米国シェールガスは、日本が輸入している天然ガスの1/5価格で販売開始された。中電は大飯瓦斯と組み米国での生産構想を発表。影響でNY原油価格は12月には1バレル85ドルまで下落。シェールガスは世界のエネルギー消費量換算で100年余の探掘可能量と予測され、CO2も石炭の40%と少ない。現在、カナダ、オーストラリアなどでも採掘が始まった。その掘削技術や鋼管が日本製であり、日本の商社が資本参加している。更に日本では遠州灘沖で新天然ガス「メタンハイドレート」(日本のガス需要100年分)のガス産出試験を2月に行なう。2018年の実用化に向け研究が進んでいる。日本ではシェールガス輸入やメタンハイドレートガスを見越してガス火力発電所の建設投資が始まった。天然ガスの圧縮技術が進めば、ガス燃料自動車の登場となるだろう。日本はLPGタクシーで実績があり、今後は世界中が日本の技術力に頼る時代となると予想される。しかし、世界で急騰したトウモロコシ等のバイオ燃料も不採算で中止され、穀物価格は急激に下落する。

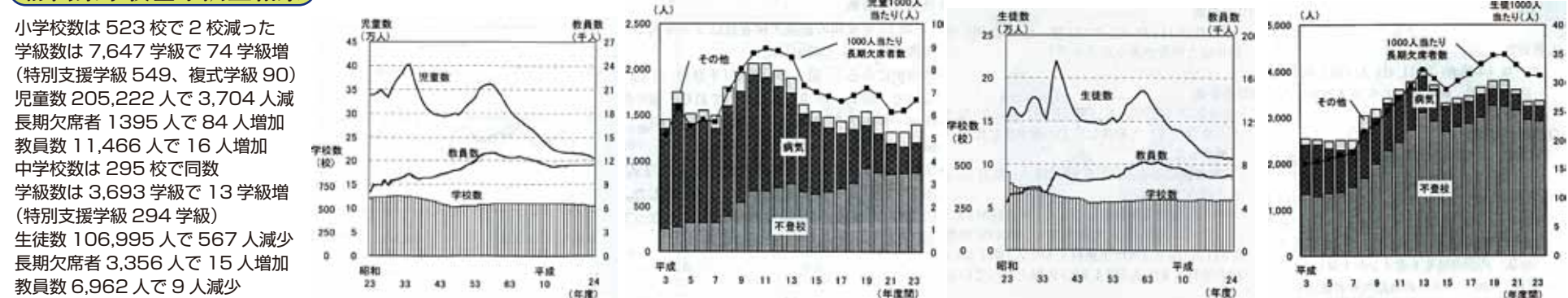
米国視察でダニエル・イノウエ上院議員政策スタッフと協議。外交問題評議会上席のシーラ・スミス女史と懇談

11月12日～21日県議会代表団8名で米国を視察。ワシントン米国連邦議会のダニエル・イノウエ上院議員を訪問、政策スタッフから米国の対日政策を伺い、議事堂や歴代の大統領が安置される円形ホールやイノウエ議員の仮議長室にも入室してもらった。まさか昨年暮れに亡くなるのは大変驚き悔やまれます。イノウエ議員は元首級としてホールに安置された。(88歳ハワイ州出身、議員歴50年の重鎮、日本名は井上建) 午後からは外交問題評議会日本担当のシーラ・スミス上席研究員と懇談をした。スミス博士は元東大の客員研究員も務め日本語が堪能で日本の外交問題について、特に尖閣諸島の領土問題、TPP参加問題、日本・中国・韓国3か国FTA問題を伺い大きな成果を得た。(裏面詳細報告参照) 今回のワシントン視察は同級生で元参議院事務局首席調査員高塚年明氏から提案があり、議員団協議で私の意見が採用され実施できた。

今年国民に信頼された安倍内閣の4つの重点課題『経済・教育・外交・暮らし』の再生に期待する。

昨年暮れから急激に円安、株高になった。市場が自民党政権に期待する表れと感じる。今回の選挙は失われた国益と政治への信頼をどう回復させるのかが大きな争点となった。「政治は国民のもの」との立憲の精神に立ち戻って深刻に反省し、政策を鍛えてきた結果と思う。しかし、自民党の議員獲得率61%なのに得票率は43%だった。しかも比例得票率は27%でしかない。結果は圧勝でない。小選挙区の制度にも課題がある。今後、日本国が経済的にも豊かで国民が安心して暮らせる社会づくりができれば信任される。私も井林代議士と連携を取りこれまで以上に地域のために働いていく所存です。地域の課題も山積しています。頑張ってくださいませのご指導ご支援のほどよろしく願い申し上げます。

静岡県学校基本調査結果



12/20～21 総務委員会質問

コンプライアンスの研修で外部講師による講義と演習の内容は？
 ・不祥事が発生したときの対応についての講義と演習。不祥事防止のため、処分事例や処分に伴う経済社会的影響を記載した教材配布。教育行政のあり方検討会12月の開催は委員1人県民オブザーバー5人欠席した。日程や内容について伺う？
 ・傍聴者のため土曜日に開催した。第2回目までの議論を踏まえた意見では第三者評価の実施について賛成と反対双方の意見があった。県有財産の売却計画は24年度までの5年間に122億円の売却収入を見込んでいるが実施状況と未利用財産の売却基準はなにか？
 ・23年12月に計画を118億円に下方修正した。実績は85億円。72.3%達成。売却対象財産は29年度まで未利用となる財産。

12/21 危機管理部関係の質問

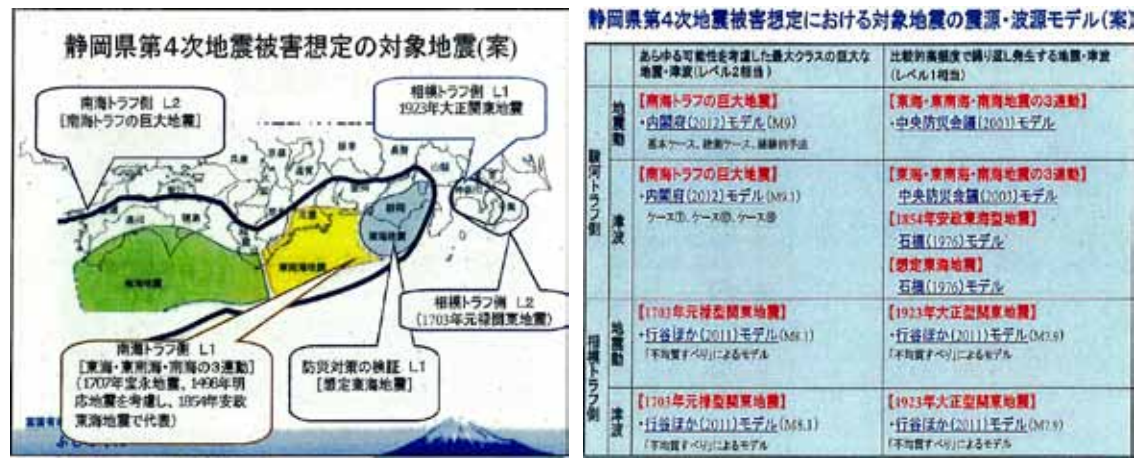
基幹的防災拠点整備が富士山静岡空港に決定した。I-A 指令機能は静岡県庁と名古屋三の丸地区となっている。具体的な内容は？
 ・I-B 高次支援が静岡空港と名古屋飛行場と名古屋港になる。広域防災拠点II-A 浜松・中東遠・志太棟原・静岡・沼津・伊豆の6か所。地震対策アクションプログラム2006はH27年に東海地震予測死者数を半減させる計画。進捗状況と今後の防災計画について？
 ・当初127アクションあったがH22に見直され、現在96で未達成は35。次期プログラムは4次地震被害想定に合わせ6月策定予定。12月2日地域防災訓練の実施結果について藤枝市民数人から各町内会での訓練状況に差があり、県の指導が必要との要望があった。
 ・県では「だって、みんなで助けたいもん!」防災訓練事例集Vol.1.2を各市町に町内会長にも配布している。地域防災に活用してほしい。消防救急の広域化は志太棟原地域が4月に焼津藤枝が合併し運用する。島田棟原は静岡市消防の傘下になるが防災計画に困らないのか？
 ・県内最初に焼津藤枝が志太として発足し島田棟原は指令や名前も静岡消防本部となる。志太棟原は藤枝が拠点、防災計画の指令は検討中。12月議会質問で昨年5月浜岡原発停止とオフサイトセンター移設を川勝知事が「私どもが進言した」との発言があった。本当か伺う？
 ・知事は停止させる環境を整えたのは私(ども)であり、オフサイトセンターの場所も私が提言した。執行部は知事個人と捉えている。浜岡原発5号機が停止した時、海水が400t流入した事故で1年余経った7月25日に腐食度合いが公表された。原因調査結果は何時か？
 ・原因調査結果は26年9月を予定している。12月19日に海水流入の監視評価検討会を設置した。25年1月に初めての会合がある。

内陸フロンティア振興特別委員会 落合副委員長活動報告

- 「内陸フロンティアを拓く取組」は大規模災害への備えを喫緊の課題として、防災・減災機能を充実・強化させることを第一の目標として進められている。以下は提言を要約して解説。
- 提言1 事業の進め方
 (1) 総合計画との整合性および予算措置・・・県は「富国徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン」策定の中に位置づけが必要。
 (2) 取り組み姿勢・・・構想は防災・減災機能の充実・強化が基本目標。県民が理解し県を挙げての取組が必要。
 (3) 市町等の動向把握・・・各地域の構想実現に向けては県と市が一体となって取組む必要があり、県が支援をしていくべき。
- 提言2 新東名高速道路やその周辺の利活用
 (1) 物流関連などの企業誘致・・・静岡県に物流基地を集積させることでハブ機能を果たす。物流の拠点となる企業誘致をすべき。
 (2) 交通の利便性と道路整備・・・中部横断自動車道・三遠南信自動車道など今後、交通の利便性が期待される。道路整備を推進。
- 提言3 総合特区への取り組み
 総合特区に指定された地域は規制緩和・土地利用法的手続きに適切な対応と財政上の支援措置など事業の迅速化を支援すべきである。
- 提言4 地域振興策
 (1) 中山間地域の振興・・・中山間地域の特色を活かした魅力ある方策実施で高速道路利用者を誘引、地域の活性化を推進。
 (2) 沿岸部、都市部への施策・・・巨大地震が懸念される中、地震・津波対策を最優先で実施し、災害に強い地域づくりを推進。
 (3) 農地の保全・・・優良農地を安易に農業以外に利用されないよう地域関係者と協議し、環境を踏まえた開発を推進。

第4次地震被害想定(24年12月発表)

津波	<p>あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大地震・津波</p> <p>・発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波</p> <p>・津波防災地域づくり法における想定浸水域の設定に用いる津波(レベル2津波に相当)</p>	<p>比較的高頻度で繰り返し発生する地震・津波</p> <p>・発生頻度は比較的高く、津波高は低いもの大きな被害をもたらす津波</p> <p>・海岸堤防等の整備の基準となる津波(レベル1津波に相当)</p>
駿河トラフ側	<p>・南海トラフの巨大地震(M9、内閣府2012)による地震・津波</p>	<p>・東海・東南海・南海地震の連動を想定→1854年安政東海地震(M8.4)のモデルを用いた地震・津波(1707年宝永地震、1498年明応地震を検証用に適用)</p>
相模トラフ側	<p>・1923年大正関東地震(M7.9)をモデルに用いた地震</p> <p>・1703年元禄関東地震(M8.1)をモデルとした津波高等を考慮</p>	<p>・1923年大正関東地震(M7.9)をモデルに用いた地震・津波</p>
想定東海地震(M8、第3次地震被害以降の防災対策の検証として)		



参加者募集 落合政経塾 事務所3階
次回開催予定日 2/7(木)・3/6(水)・4/3(水)
基本は毎月第一水曜日 19:00～21:00

政治経済の勉強会
講師 高塚年明氏
分り易い解説
女性もおります
ご参加ください

落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838
 TEL 054-645-8100
 FAX 054-645-8111
 メール s.o@thn.ne.jp
 http://www.ochiai-shingo.jp

今年も豊川稲荷